

世界好利回り短期債券ファンド (毎月決算型)

追加型投信／内外／債券

愛称：キュート

第139期末 (2018年10月12日)	
基準価額	5,131円
純資産総額	3,109百万円
第134期～第139期	
騰落率 (上昇率・下落率)	-2.7%
分配金合計(*)	70円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 各期の分配金を合計したものです。

第134期 (決算日：2018年5月14日)
第135期 (決算日：2018年6月12日)
第136期 (決算日：2018年7月12日)
第137期 (決算日：2018年8月13日)
第138期 (決算日：2018年9月12日)
第139期 (決算日：2018年10月12日)

作成対象期間
(2018年4月13日～2018年10月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界主要国の短期債券を主要投資対象とし、信用力が高く、相対的に利回りが高い4～5カ国に一定の比率で投資することで、安定した収益の獲得をめざし、運用を行っております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくご願ひ申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書(全体版)を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

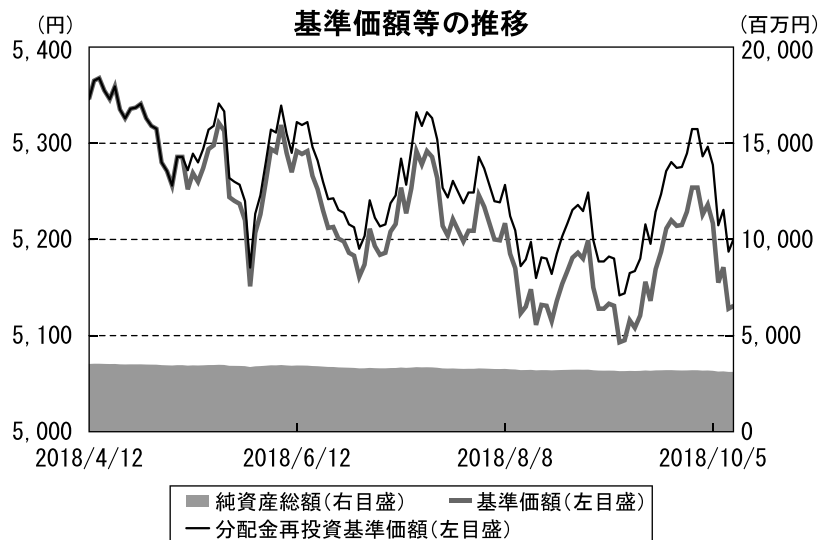
お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第134期～第139期：2018/4/13～2018/10/12）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.7%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



当ファンドは、世界主要国の政府や政府機関等が発行する短期債券を中心に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利子収益を享受したことや、米ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	豪ドル、シンガポールドル、マレーシアリングgit、ニュージーランドドル、ポーランドズロチが対円で下落したことや、米国、マレーシアなどの短期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

（2018年4月13日～2018年10月12日）

i 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項 目	第134期～第139期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 27	% 0.516	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× （作成期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(12)	(0.224)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(14)	(0.271)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.020)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.049	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷ 作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.046)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	30	0.565	
作成期中の平均基準価額は、5,223円です。			

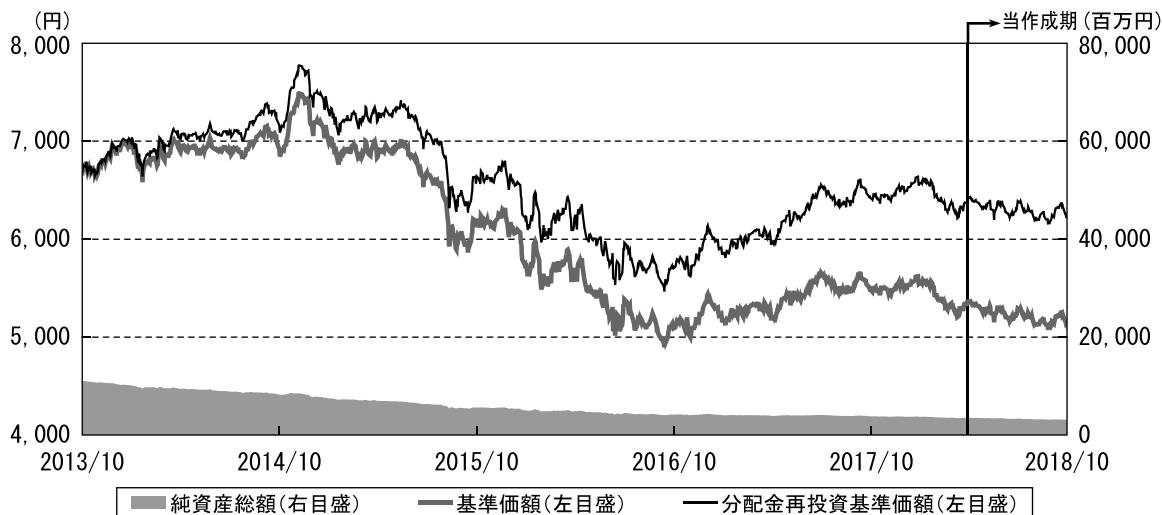
（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

（2013年10月15日～2018年10月12日）



・ 分配金再投資基準価額は、2013年10月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2013/10/15 期初	2014/10/14 決算日	2015/10/13 決算日	2016/10/12 決算日	2017/10/12 決算日	2018/10/12 決算日
基準価額（円）	6,717	6,933	6,184	5,083	5,499	5,131
期間分配金合計（税込み）（円）	—	240	240	240	240	190
分配金再投資基準価額騰落率	—	6.9%	-7.6%	-14.1%	13.1%	-3.3%
純資産総額（百万円）	11,012	8,288	5,630	4,157	3,834	3,109

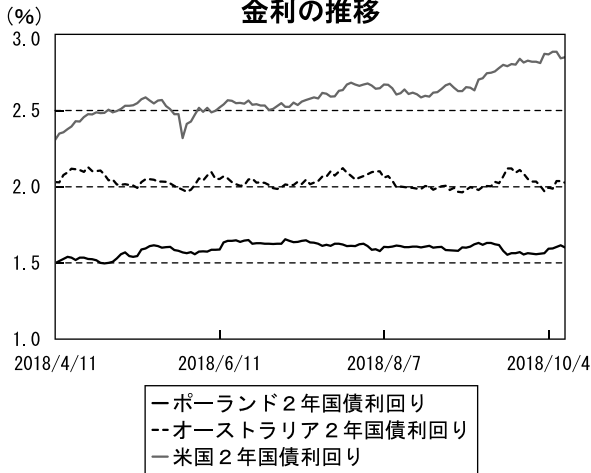
・ ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドは、世界主要国の政府や政府機関等が発行する短期債券中心に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について

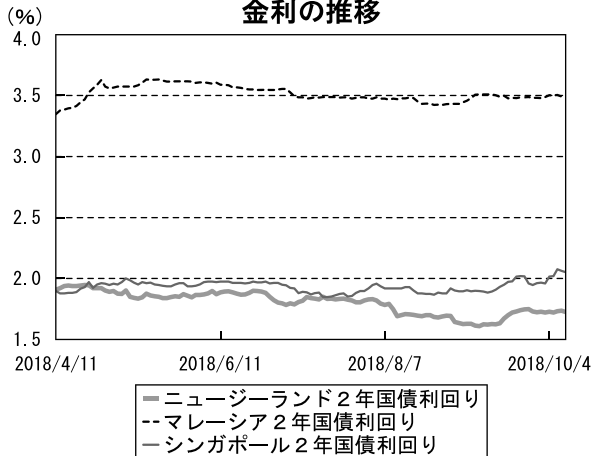
（第134期～第139期：2018/4/13～2018/10/12）

金利の推移



（注）現地日付ベースで記載しております。

金利の推移

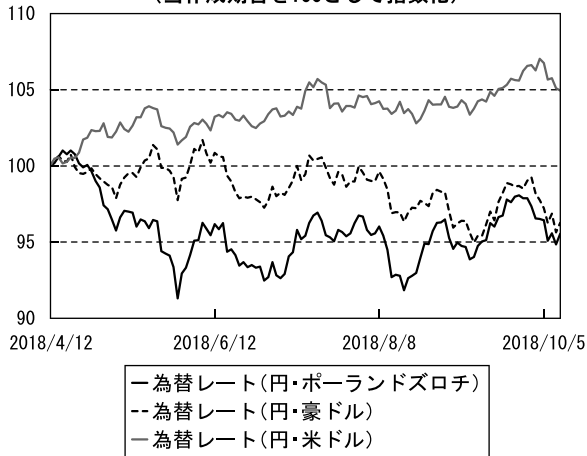


（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

・米国、マレーシア、ポーランド、シンガポールで金利は上昇した一方、オーストラリア、ニュージーランドで金利は低下しました。米国、シンガポール、ポーランドでは、米国で政策金利が2度にわたって引き上げられたことなどを背景に金利は上昇しました。マレーシアは、作成期首に米国において市場で織り込む利上げペースが加速したことなどから金利が上昇し、その後米中間の通商問題などを背景に金利は低下基調で推移しましたが、作成期を通じてみると金利は上昇して終わりました。オーストラリア、ニュージーランドでは、消費者物価指数（CPI）の伸びが緩慢であることや、発表された中央銀行の見通しなどから利上げ観測が後退したことなどが、金利の低下要因となりました。

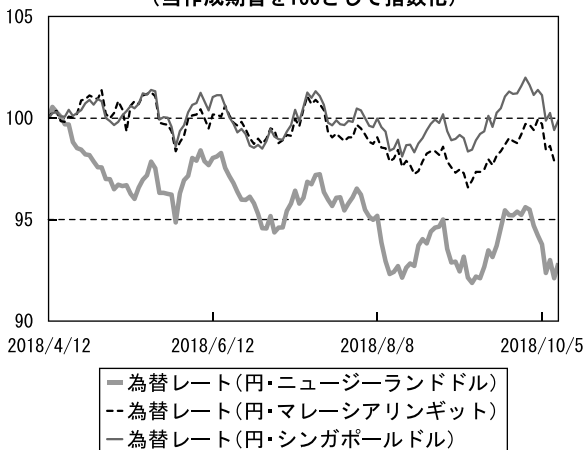
為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

・米ドルは対円で上昇した一方、その他の組入通貨（マレーシアリングgit、豪ドル、ニュージーランドドル、シンガポールドル、ポーランドズロチ）は対円で下落しました。米ドルは、前述の政策金利の引き上げや、堅調な景気認識などから、対円で上昇しました。その他の組入通貨は、米中間の通商問題やイタリアの政局問題などを背景に、対円で下落基調で推移し、作成期を通じてみると下落して終わりました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

◎組入比率

- ・信用力が高く、相対的に利回りが高い4～5カ国（利回り面で有利であると判断した場合には4カ国へ投資、投資通貨数を絞り込む効果が限定的と判断した場合には為替リスク分散のため5カ国へ投資）に一定の比率で投資する商品性に基づき、当作成期においては、作成期首から2018年7月中旬まではマレーシア30%、ニュージーランド25%、オーストラリア20%、ポーランド15%、米国10%、その後作成期末まではマレーシア30%、米ドル25%、オーストラリア20%、ニュージーランド15%、シンガポール10%を組み入れて運用を行いました。
- ・前述の投資行動の結果、債券の利子収益を享受したことや、米ドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となったものの、豪ドル、シンガポールドル、マレーシアリングgit、ニュージーランドドル、ポーランドズロチが対円で下落したことや、米国、マレーシアなどの短期金利が上昇したことなどから、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2018年4月12日）

最終利回り	2.3%
直接利回り	3.1%
デュレーション	1.8年

作成期末（2018年10月12日）

最終利回り	2.6%
直接利回り	3.1%
デュレーション	1.8年



- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、世界主要国の政府や政府機関等が発行する短期債券中心に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期	第139期
	2018年4月13日～ 2018年5月14日	2018年5月15日～ 2018年6月12日	2018年6月13日～ 2018年7月12日	2018年7月13日～ 2018年8月13日	2018年8月14日～ 2018年9月12日	2018年9月13日～ 2018年10月12日
当期分配金	20	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	0.379%	0.189%	0.190%	0.195%	0.195%	0.195%
当期の収益	9	10	9	9	8	10
当期の収益以外	10	—	0	0	1	—
翌期繰越分配対象額	119	121	121	120	119	121

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

◎運用環境の見通し

- ・ 当面の米国長期金利は、もみ合いの展開を想定します。米連邦公開市場委員会（FOMC）は、米経済は力強い速度で拡大していると見ており、政策金利誘導目標の更なる引き上げを目指している一方で、長期的なインフレ期待の指標が落ち着いていることやトランプ政権の通商政策などに起因する先行きの景気減速懸念も予想されるため、長期金利は当面もみ合う展開を想定します。
- ・ 欧州では、経済指標面での好調な内容を受けて、今後も潜在成長率以上の成長が期待される一方で、コアのインフレ圧力は抑制された状況が続くものと考えます。また、欧州中央銀行（ECB）は、資産購入に伴うバランスシートの拡大を2018年末に終了する見通しを示したものの、現在の主要政策金利を少なくとも2019年夏まで維持することや満期が到来した債券などの再投資を当面続ける方針を示していることなどから、債券市場の需給環境は引き続き良好なことが見込まれます。

◎今後の運用方針

- ・ 利回り水準、格付、流動性などの観点から、当面、マレーシア、米国、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポールを中心とした運用を行います。必要に応じ入れ替えも検討して参ります。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・該当事項はありません。

◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

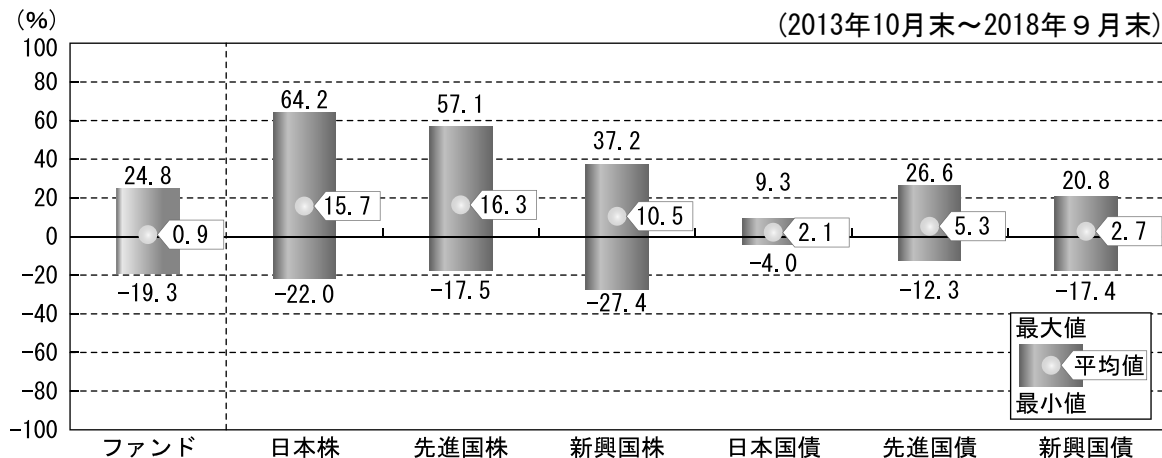
*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限（2006年12月20日設定）
運用方針	世界主要国の政府や政府機関等が発行する短期債券中心に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。信用格付がA格相当以上の国の中から、債券市場の規模、投資に係る規制等を勘案して投資候補となる国を決定します。投資にあたっては、利回り水準の高い国を複数選定し、当該国通貨建ての債券に投資することを基本とします。投資配分については、市場流動性や利回り水準等を勘案して決定します。投資候補国および投資国の見直しは、委託会社が必要と認めた場合に行います。為替変動リスクを軽減させるため、為替ヘッジ取引等を活用する場合があります。
主要投資対象	わが国を含む世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	世界主要国の短期債券を主要投資対象とし、信用力の高い、好利回り国の短期債券へ分散投資を行うことにより、安定した収益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

i 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2013年10月から2018年9月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

- 日本株：TOPIX（配当込み）
- 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）
- 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
- 日本国債：NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）
- 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

（2018年10月12日現在）

組入上位10銘柄

（組入銘柄数：14銘柄）

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	1.875 T-NOTE 201215	債券	アメリカ	国債	13.8%
2	4.378MALAYSIAGOV 191129	債券	マレーシア	国債	12.9%
3	6 NZ GOVT 210515	債券	ニュージーランド	国債	9.9%
4	1.75 T-NOTE 191130	債券	アメリカ	国債	8.9%
5	1.75 AUST GOVT 201121	債券	オーストラリア	国債	8.4%
6	2 SINGAPOREGOV 200701	債券	シンガポール	国債	7.1%
7	4.16 MALAYSIAGOV 210715	債券	マレーシア	国債	6.7%
8	3.889 MALAYSIAGO 200731	債券	マレーシア	国債	6.5%
9	2.75 AUST GOVT 191021	債券	オーストラリア	国債	5.7%
10	5.75 AUST GOVT 210515	債券	オーストラリア	国債	5.3%

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

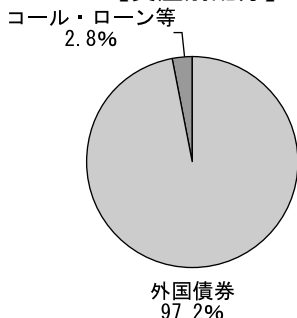
純資産等

項目	第134期末 2018年5月14日	第135期末 2018年6月12日	第136期末 2018年7月12日	第137期末 2018年8月13日	第138期末 2018年9月12日	第139期末 2018年10月12日
純資産総額	3,434,503,220円	3,441,858,635円	3,332,909,136円	3,200,557,758円	3,154,652,401円	3,109,349,223円
受益権口数	6,539,580,315口	6,503,340,518口	6,344,564,960口	6,247,496,668口	6,175,739,177口	6,060,062,591口
1万円当たり基準価額	5,252円	5,292円	5,253円	5,123円	5,108円	5,131円

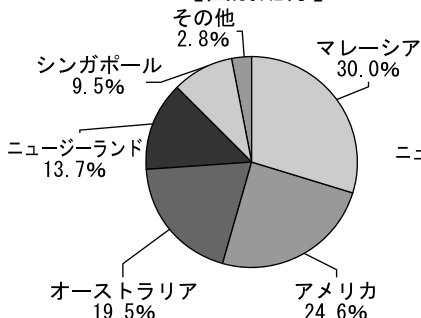
- ・当作成期間中（第134期～第139期）において追加設定元本は 30,707,137円
同解約元本は 556,040,156円 です。

種別構成等

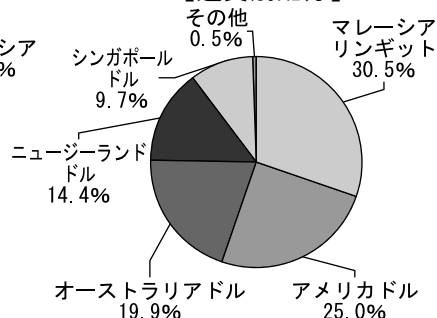
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信